

令和8年度 遺族支援・グリーフを学ぶ講演会 実施要領

1. 目的

大切な人との死別により遺された人には、様々な影響が生じる。特に、自死・自殺による死別では、悲しみ、抑うつ感、孤独感、自責感などの複雑な心理状態を抱えやすい一方で、社会的な理解の乏しさから遺族(遺児)が支援に繋がりにくい現状がある*。

本講演会では、自死遺族の置かれている心理社会的状況を理解し、遺族等が孤立せず生活できるような関わり方(グリーフ)、支援ネットワークのあり方を学ぶ。また、事故や事件等の「突然の死別」を経験した方への関わりも学ぶ機会とする。

(*:「自死遺族等を支えるために～総合的支援の手引」(2018年11月 自殺総合対策推進センター作成))

2. 対象・定員

本テーマに関心のある府民、自治体職員(福祉・保健・教育関係)、児童福祉関係者、医療・看護・心理職、警察・消防・司法関係者、民間支援団体相談員等 100名程度

3. 開催概要

・日時: 令和8年9月25日(金) 14時00分～15時45分

14:00～14:05 開会挨拶・趣旨説明

14:05～15:05 講演

「自死、事件、事故などによる突然の死別に向き合うこと一周囲の人の理解と支援」

・講師: 黒川 雅代子 氏(龍谷大学短期大学部教授)

・内容: 大切な人との死別体験は、遺族にとってストレスフルな出来事である。

葬送儀礼の簡略化、近所付き合いの希薄化等、死は社会から見えにくく、遺族がたった一人で喪失悲嘆に向き合っているかもしれない。身近にいる人の理解と支援が重要である。参加者とともに考える機会としたい。

15:05～15:35 自死遺児支援に関わる団体の活動紹介(各15分)

・登壇団体: こころのカフェきょうと、認定NPO法人京都自死・自殺相談センターSotto

15:35～15:45 質疑応答・閉会

※ 講演会後、市町村等支援関係者と講師の意見交流会を予定(終了16:15)

4. 形式・参加費用

オンライン開催、無料

5. 申込方法・申込メ切

以下のフォームもしくはQRコードから申込ください。【メ切 9/15(火)】

<https://forms.cloud.microsoft/r/sQQIy07ijH>



6. 後援(予定)

京都府医師会

7. 主催・問合せ

京都府健康福祉部地域福祉推進課 生活困窮・自殺対策推進係 (Tel) 075-414-4628
精神保健福祉総合センター